

## 薬剤による腎障害



師匠百合小新奥

副作用よりも、患者さんのために圧倒的に勝ると思われから医師は、薬を処方するわけで、副作用が無い薬は無いのです。

多くの薬は、肝臓または腎臓で代謝、排泄される体の外へ出ていきます。つまり、薬を飲むという

場合にも、患者さんのために圧倒的に勝ると思われから医師は、薬を処方するわけで、副作用が無い薬は無いのです。

多くの薬は、肝臓または腎臓で代謝、排泄される体の外へ出ていきます。つまり、薬を飲むという

場合にも、患者さんのために圧倒的に勝ると思われから医師は、薬を処方するわけで、副作用が無い薬は無いのです。

平均寿命が世界1位の日本で、お元気で長生き

多くの薬は、肝臓または腎臓で代謝、排泄される体の外へ出ていきます。

多くの薬は、肝臓または腎臓で代謝、排泄される体の外へ出ていきます。

多くの薬は、肝臓または腎臓で代謝、排泄される体の外へ出ていきます。

多くの薬は、肝臓または腎臓で代謝、排泄される体の外へ出ていきます。

多くの薬は、肝臓または腎臓で代謝、排泄される体の外へ出ていきます。

中には医者いらすの羨ましい方もいらすと思えますが、多くの方は

これは、肝臓や腎臓がいつもより一生懸命働かない

これは、肝臓や腎臓がいつもより一生懸命働かない

これは、肝臓や腎臓がいつもより一生懸命働かない

これは、肝臓や腎臓がいつもより一生懸命働かない

これは、肝臓や腎臓がいつもより一生懸命働かない

一病息災、二病息災なのではないでしょうか。き

よつては、肝臓、腎臓に負担となり、障害をきた

よつては、肝臓、腎臓に負担となり、障害をきた

よつては、肝臓、腎臓に負担となり、障害をきた

よつては、肝臓、腎臓に負担となり、障害をきた

よつては、肝臓、腎臓に負担となり、障害をきた

まれていることと思いま

今回は、腎臓に障害を

今回は、腎臓に障害を

今回は、腎臓に障害を

今回は、腎臓に障害を

今回は、腎臓に障害を

たはけないのだけど、副

較的よく使用する薬につ

較的よく使用する薬につ

較的よく使用する薬につ

較的よく使用する薬につ

較的よく使用する薬につ

薬である以上、作用もあ

いたいただきます。

いたいただきます。

いたいただきます。

いたいただきます。

いたいただきます。

をこわしたり、怪我をして化

造影剤

の女性が多く服用されて

約60%程度に落ちている

腫した場合、いわゆるばい

菌が身体に入

少ないものが出ています

特殊な薬なので省略させ

つて悪さをす

度の造影剤を腎臓が排泄

はよいと、次に予防法

少し話がむすかしくな

る場合に使用しますが、腎臓の尿管細管というところ

に、負担をかけやすい

から薬は、必要最小限に

留めるのは言うまでもあ

ますので、患者さんの腎

機能による調節が必要で

す。また、使用量が少な

くても、特異体質でアレ

ルギーを起し、腎障害

を起すことがあります。

痛み止め(消炎鎮痛劑)

頭痛、腰痛、関節痛など

で服用される頻度の高い

薬です。これらのほと

んどは、程度の差はあれ

腎臓の血流を減らしてし

まいますので、長期に使

用する場合は特に注意が

必要です。風邪薬も同様

です。中には、ネフロー

ゼ症候群という、尿にた

くさん蛋白がおりて身体

に腫れの出る病気や、間

質性腎炎という急性また

は、慢性の炎症を引き起

すことがあります。

これは、慢性的な炎症を

引き起す方もかなりお

られます。特に、ご高齢

のことに低下し、80歳以

下の腎機能は、平均

約60%程度に落ちている

です。その薬の作用が、

風邪をひいたり、お腹

こすことがありますが、

その薬の作用が、風邪を

## ■抗生物質

風邪をひいたり、お腹

こすことがありますが、

これは、慢性的な炎症を

引き起す方もかなりお

られます。特に、ご高齢

満町|奥新小百合医師